

中産連の月刊マネジメント専門誌

プロGRESS

CHU-SAN-REN MANAGEMENT MAGAZINE

PROGRESS

2018/11

第811号 平成30年11月1日 (毎月1回) 発行

一般社団法人 中部産業連盟
中産連

特集

- 1.働き方改革関連法案施行に向けた留意点
- 2.大変革時代の技術・技能伝承を考える



新東いものキャンパス®「金属を溶かして“いもの”をつくろう!」を開催(新東工業株式会社/詳細は次項)



Link the Next
~共想、そして共創~

革新の創造力 65

金網・パンチングメタル一筋に技術革新を続けて市場を開拓

株式会社奥谷金網製作所

百二十年もの間、金網とパンチングメタル一筋にこだわってきた神戸の(株)奥谷金網製作所。従業員は約五十名、年間の売り上げは十一億円ほど。規模は大きくはないが、パンチングメタルの分野では世界的にもトップレベルの技術力を誇る。技術革新を繰り返すことで、時代の変化に対応して新しい需要先を開拓。金網、パンチングメタルという限られた分野のなかでも、常に革新をすることで企業の価値を高めてきた。製品の持つ可能性へ挑戦しつづけた歩みにスポットを当てた。



株式会社奥谷金網製作所
代表取締役社長
奥谷智彦氏

重工業向けから多岐にわたる産業向けへと変化

同社は明治二八年に神戸に創

業、百二十年以上の歴史を有する老舗企業である。当初は一般家庭や軽工業向けに金網を製造販売していたが、神戸の地に重工業が発達するにつれて鉄鋼や造船といった産業向けに需要先が変化してきた。

一般的に、金網は鉄やステンレスなどの金属線材を織り込んで網状としたもので、網目の細かさや織り方などによってさまざまな種類がある。その用途で最も多いのは、ふるい分けやろ過用、いわゆるフィルターとしての役割である。自動車や船舶には、排ガスフィルターやオイルエレメントに金網が使われているほか、重工業向けにも、金網はさまざまなフィルターとして使われてきた。

同社にとって、ひとつの転換点は昭和四二年にパンチングメタルの製造を開始したところである。パンチングメタルは、ステンレス鋼板などに打ち抜きで孔をあけた構造になっている。孔の大きさや、どの

くらいのピッチで孔をあけるかによって、さまざまな用途に対応できる。使われる場所は、水処理施設、石油化学工業、鉱山、製鉄所、医薬品製造、食品工場、リサイクル工場と多岐にわたり、液体・気体・個体を選別するスクリーンやフィルターの役割を果たす。たとえば、新幹線の座席下の排気口や、航空機の補強材には軽量化・省エネのためにパンチングメタルが使われている。

普段目にする機会が少ないだけにピンと来ないかもしれないが、意外にパンチングメタルは身近な場所で活躍しているのだ。

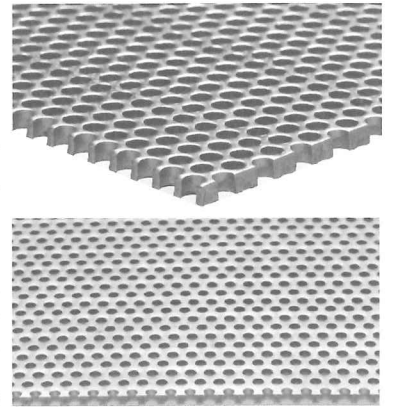
現在、パンチングメタルは同社の売り上げの半分を占めている。明石と堺に工場があり、そこでさまざまなパンチングメタルを製造している。一方、金網はOEMによって仕入れて自社ブランドで販売をしている。

「スーパーパンチング」の開発が企業価値を高めた

もうひとつ、同社にとって大きな転換点となったのは、パンチングメタルの技術革新である。

パンチングメタルは対象物を孔に通して選別するという役割があるが、従来のものはある一定期間使用すると、摩擦によって使えなくなるといった側面があった。取引先からはもう少し使用期間の長いパンチングメタルがほしいという要望があったものの、なかなか課題を克服するのは難しかった。耐久性を上げるには板を厚くすればいいが、業界内では板厚よりも小さい孔をあけることはほぼ不可能というのが常識だったからだ。

同社はその常識に挑戦し、平成二一年、金型やプレス加工技術の改良によって、板厚よりも小さな孔をあけることに成功。この「スーパーパンチング」の開発によって、パ



板厚より小孔径のパンチングプレス

ンチング業界のなかで一気に注目されるようになった。

「スーパーパーパンチング」は板厚よりも小さい孔のパンチングプレスが可能で、さらに狭いピッチでの加工も実現した。これによって従来よりも強度や耐久性が増し、取引先のコスト削減につながったほか、従来のパンチングメタルでは使用不可能だった分野へも使用もできるようになった。現在、さらに小さな孔をあけることができる「超スーパーパーパンチング」の開発にも、ほぼめどが立ったという。

ホームページ、ショールーム、新素材の開発も

同社のパンチングメタルが従来の神戸市内の重工業向けから、全国が多岐にわたる取引先へと転換していったのは、平成

の初め、バブルが崩壊して、阪神淡路大震災を経験し、さらには中国からの輸入品の影響などが大きくなった頃だった。かつてのように神戸市内の重工業向けだけではこの先の見通しが立たないという状況のなかで、何とか新たな需要を開拓していく必要に迫られていた。

六代目となる奥谷智彦社長が入社したのは、ちょうどそんな時期だった。奥谷社長がまず取り組んだのが、普及をし始めていたインターネットを活用したホームページの作成である。「いち早くホームページを作成したことが非常に大きな力となった」と奥谷社長。ホームページを通じて、金網・パンチングメタルに特化した企業情報は少しずつ知られるようになり、今や一日に十件以上も新規の顧客からの問い合わせがあるという。



さまざまな金網・パンチングメタルの見本が見られるショールーム

本社に併設する形でショールームもつくった。これだけの金網・パンチングメタルの見本が見られる場所は日本国内にはない。そのため、顧客がわざわざ訪ねてくれるようになったという。

さらに新しい取り組みとして、PP (ポリプロピレン) や PE (ポリエチレン)、CFRP (炭素繊維強化熱可塑性樹脂) のパンチングを開発。金属に比べて軽量化による省エネ効果や錆び防止というニーズにも対応することで、新たな需要開拓をめざしている。

海外市場の開拓も

平成二四年、同社はアメリカの金属加工機などの展示会「IMTS2012」へ出展。この展示会でスーパーパーパンチングなどの技術力が注目され、海外進出の糸口をつかんだ。日系商社からアメリカに拠点を置くよう打診を受け、その一年後にシカゴ事務所を設立。さらに翌年には、ドイツ・デュッセルドルフにも事務所を設立した。その後も海外の展示会への出店を続け、現在、

同社の売上の約5%が海外向けとなっている。今後は、海外向けを売り上げの一割程度まで上げるのが目標だ。

奥谷社長は、二〇三〇年に売り上げ三十億円を目標に掲げている。そのためには、パンチング技術のさらなる革新はもちろんだが、人が変わる必要があるとして、社内研修の充実に取り組んでいる。従業員の意識が変わることで、企業は大きく変わっていくという確信があるからだ。その積み重ねの結果として、海外向けの拡大があり、売上三十億円があると思っている。

古くて新しい製品ともいえる金網・パンチングメタル。同社の挑戦によって、その可能性はさらなる広がりをみせていくだろう。



(株)奥谷金網製作所ホームページ
(<https://www.okutanikanaami.co.jp>)

PROGRESS

中産連の月刊マネジメント専門誌

プロGRESS

CONTENTS 2018/11

潮流 社員とお客様とともに心豊かな成長を……シヤチハタ株式会社 代表取締役社長 舟橋 正剛 1

特集 1. 働き方改革関連法案施行に向けた留意点
 ……中地総合法律事務所 代表弁護士 中地 充 2

2. 大変革時代の技術・技能伝承を考える
 ……トリニティ プログラム 代表 野中 帝二 9

企業訪問シリーズ「革新の創造力」
 《第65回》株式会社奥谷金網製作所：金網・パンチングメタル一筋に技術革新を続けて市場を開拓 … 15

● 会員懇話会抄録 危機管理の要諦～日大アメフト部の対応にみる～
 ……株式会社アクセスイースト 代表取締役 山口明雄氏 17

コラム「大道無門」 やっとかめ文化祭の面白さは、寄せ鍋の味わいと同じ
 ……やっとかめ文化祭実行委員会 ディレクター 近藤マリコ 21

中産連だより・22 中産連セミナー案内・24

表紙写真の説明



作品を手にする参加者

ものづくりのDNAを次世代に

新東工業株式会社
 (中産連会員番号・S034)

新東工業株式会社(永井 淳社長・中産連理事)では、10月6日～7日に名古屋市科学館にて新東いものキャンパス®「金属を溶かして“いもの”をつくろう!」を開催し、多くの参加者が鋳物の楽しさを体験した。

この「新東いものキャンパス®」は、ものづくりの楽しさを伝えることを目的として、2005年「愛・地球博」への出展を皮切りに、今年で14年目を迎える。地域のイベントや子ども向け科学教室、展示会などへ年間8回ほど出展しており、各イベント会場では開場と同時に整理券を求める列ができるなど、人気・満足度ともに高い活動となっている。初めて「鋳物」という言葉を聞く参加者も多く、身近な鋳物製品の紹介も交えながら興味と理解を深めるような工夫をこらしている。

同社では「信頼される技術を通じて人間としての豊かさと成果を」という経営理念のもと、ものづくりを通して新しい価値を届けることができるよう、そのDNAを次世代に受け継いでいる。



新東工業株式会社ホームページ
<http://www.sinto.co.jp/index.html>